

■ 平成 17 年度 第 9 回教育研究会議議事録

1. 日 時 平成 17 年 10 月 11 日(火) 13 時 30 分～

2. 場 所 学術交流会館特別会議室

3. 出席者

南(理事長, 議長)

中西、宮本、泉、菅野、小笹

武田、切畑、大道、田中、黒田、土居、小松、石井

奥野、川崎、寺岡、津戸、竹下、青山、林、佐藤、福永

<オブザーバー>

北條

[報告事項]

1. 日仏共同博士課程日本コンソーシアムへの加盟決定について

日本とフランス両国の友好と学術交流を目的として設置された『日仏共同博士課程日本コンソーシアム』への本学の加盟が、平成 17 年 10 月 1 日付けで承認され、今後は、両国大学院博士課程に在籍する学生の相互交流及び共同研究指導を促進すべく、日仏共同博士課程交流事業が実施されることとなる旨の報告が石井副学長（国際交流等担当）よりなされた。

2. 21 世紀科学研究所（仮称）について

本学が、組織としての研究機能を更に発揮させていくためには、教育・研究上の枠組を越えた分野（部局）横断型の研究グループの自己組織化を誘導する必要がある、主唱者が活動しやすい環境の提供を組織として支援する必要がある。

このため、大学として組織認定し、その活動に対し一定の便宜を図り支援することを目的とする、「21 世紀科学研究所」の設置構想について中西理事より説明がなされた。

なお併せて、「21 世紀科学研究所」の設置等について審議することとなる、「審議委員会」の早期開催についても説明がなされた。

3. 国立大学法人等の平成 16 年度評価について

「国立大学法人等の各年度終了時の評価にかかる実施要領(平成 16 年 10 月策定)」に基づき、国立大学法人等の平成 16 年度にかかる業務の実績に関する評価結果の概要等が、国立大学法人評価委員会委員長から本年 9 月 16 日付けで公表され、各国立大学法人とも学長等のリーダーシップのもと、全体的には初年度の限られた時間の中で、経営基盤を確立し、中期計画を順調に実施していることの評価が得られているが、個別では、学生の収容定員割れに対する是正や、学部学科等毎に発生するコストを把握・分析するなど、管理会計的な観点から財務内容を分析する基盤整備が必要との提言もなされている旨、南理事長から報告があった。

なお、南理事長からは、今後における本学の中期計画や年度計画に際しては、国立大学等の年度評価の内容を十分に吟味し、留意するよう指示がなされた。

4. H17 年度第 3 回入学試験運営委員会について

第 3 回入学試験運営委員会が平成 17 年 9 月 13 日(火)に開催され、①報告事項として、「平成 17 年度オープンキャンパスの結果について」「第 2 回入試あり方部会について」「第 2 回入試広報部会について」「工学研究科・理学系研究科 平成 18 年度入試出題ミスについて」「その他 AO 入試実施状況について」、②協議事項として、「平成 18 年度一般選抜学生募集要項(案)について」「総合リハビリテーション学部(栄養療法学専攻)の 2 次編入学の再募集について」及び③その他事項として、「試験当日における入試実施体制について」「受験生からみた府立大学(大学全入時代へのヒント)に関する研修会について」であった旨の説明が石井学生センター長から報告された。

5. H17 年度第 2 回学生委員会について

第 2 回学生委員会が平成 17 年 10 月 5 日(水)に開催され、①報告事項として「第 57 回白鷺祭(大学祭)について」「第 57 回白鷺祭(大学祭)における OPEN LABO について」「第 36 回関西六公立大学総合競技大会について」、②協議事項として「学生の懲戒について」及び③その他事項として「学生細則の一部改正(再発行手数料の徴収)について」「新学生証の交換の周知徹底について」「杏樹祭(羽曳野キャンパス祭)の開催について」「オフィスアワーの実施推進について」であった旨の説明が石井学生センター長から報告された。

6. 入試ガイダンスについて

白鷺祭(11/5~6)及び杏樹祭(10/29)の期間中に本学の入試ガイダンスを実施していくことの報告が石井学生センター長よりなされた。

以上